

われらの道



令和7年12月19日発行

文責 附属中 加藤 克人

中等教育研究会

「自立した学習者の育成～学びを深める授業の創造～」を研究主題に中等教育研究会が、11月29日に行われました。今年度の研究は、3年研究の1年目にあたります。



この中等教育研究会の実施に向け、生徒・教職員・参観していただく先生方が、それぞれの立場で学びを深められるよう4月から準備を重ね



てきました。国語、社会、数学、理科、音楽、美術、保健、技術、英語の9つの授業を公開しました。多くの先生方に参観していただき、普段とは違う緊張感に包まれた授業となりました。公開授業の積み重ねは、それぞれの教員の授業力の向上と、生徒一人一人の主体性や創造性を育むことにつながります。



全体会の後、東京大学大学院 教育学研究科 准教授 一柳智紀先生の「自立した学習者の育成に向けて」と題した講演がありました。参加した先生方のグループでの話し合いを交えながら、わかりやすくお話をいただきました。

生徒会役員選挙

11月28日から生徒会本部役員選出の活動が始まりました。11名の立候補者は、朝のあいさつ、昼の遊説において、附属中を今よりさらによくしていきたいと、強い意欲をみせました。また、2年生の各クラスの生徒は、立候補者の応援に精一杯取り組みました。



12月5日に行われた立会演説会では、それぞれの候補者、責任者が堂々と自分の思い・考えを伝えました。全校生徒それぞれが真剣に耳を傾け、今後の学校について考えることができました。

いじめ防止会議

12月10日に附属中いじめ防止会議が行われました。この会議は、各教室をオンラインでつなげ「いじめ防止」について意見交換をするものです。最初に、少年市長からの「いじめ追放宣言」の朗読を視聴しました。その後、「いじめアンケートの結果」から思った意見や感想などを発表し合いました。最後に、甲府市長からのメッセージ動画を視聴して会議を閉じました。

いじめを絶対に許さないという真剣な気持ちが伝わる会議になりました。

今年のまとめと新年に向けて

年末を迎えるにあたり、生徒のみなさんは一年間を振り返りながら、来年への抱負を胸に抱いていること思います。

保護者のみなさまには、一年間附属中学校を支えていただき本当にありがとうございました。生徒が元気に学校生活を送ることができているのも保護者のみなさまのおかげです。

附属中学校に関わるすべての人が令和8年のスタートを笑顔で迎えることができる事を願っております。よいお年をお迎えください。

二十四節気

今の季節は、

冬至（とうじ）12/22～1/5ごろ

一年でもっとも昼が短く、夜が長いころ。寒さを乗りきるために、栄養価の高いかぼちゃを食べ、ゆず湯につかり無病息災を願います。

小寒（しょうかん）1/6～1/19ごろ

「寒の入り」といわれ、これから更に寒さが厳しくなるころ。小寒から節分までの三十日間のことを「寒の内」といいます。寒が明けると立春になります。